

世話人として15年余り。私が湘現会に入会いたしましたきっかけは、金沢会を立ち上げ、現在もご活躍中の門口代表の近くに住む妹からの話に興味を持ったのが最初でした。その後、以前、湘現会の会員でいらっしゃった小林久子様から、鎌倉にも同じような会があるので、是非というお誘いお葉書を頂き、それ以来、両会の会員となって、現在に至っております。

湘現会に於きましては、初代の灘上代表、渡邊代表、井森代表、現在の桑原代表に亘り、世話人としていつの間にか15年余りも経ってしまいました。その時代の代表、世話人の方々の構成によって、会の雰囲気は当然のことながら、少しずつ変化してまいりました。

当初を振り返りますと、その頃はあまり細かな決め事は作らずに、のんびり、ゆったりとした雰囲気の中、皆で楽しんで会を作り上げていったような気が致します。然しながら、その時代を担っておられた方々の多くはご高齢となり、残念ながらお亡くなりになられた方々も多く、又、この数年間の時代の変化の結果、会員の減少等、会自体だいたい方向転換をせざるを得ない部分も出てまいりました。

最近の世話人会は、以前の湘現会を念頭に、且つ、現状のながれを見据えながら取り組んでいる状態だと個人的には思っております。

狭い枠の中で、しかも自由気ままに生活してまいりました私には、湘現会の多くの方々が、机上の学問のみではなく体験を通して、実際に身に付けてこられた行動力や、知識力の深さを知り、社会勉強として私のモチベーションを高めてくれるには湘現会はうってつけの場であったと思います。その中で私も多少は様々な部会を通して社会との接点を持つ事も出来ました。まさにそれこそが湘現会の魅力でもあると感じております。

この15年間の大半に於いて、世話人はボランティアであるという認識のもとにやっておりましたが、今、振り返ってみますと、私にとっての世話人は自分自身が少しでも成長する為の機会を与えてくれた場であったのだと悟り、昨今は感謝の念を多少なりとも持ちながら続けております。これからは、新しい方々にも協力して頂き、それぞれの希望や思いが実現でき、且つ、達成感を感じ取れるような会に発展していったら……と、勝手に思いを馳せております。